

公益社団法人 砂防学会北海道支部 平成 28 年総会

～ 北海道支部 3 年目に突入 ～

平成 28 年 6 月 10 日北海道大学農学部本館中講堂にて、支部総会を開催しました。出席者 24 名、委任 39 名で定足数を満たし、支部役員の交代、この 1 年間の活動の報告、これから 1 年間の活動計画の審議を行っています。

発足後 2 年で役員の任期満了となり、副支部長について宮島氏から北海道開発局竹内氏に交代することが承認されました。宮島氏は設立世話人の一人であり、その後支部設立発起人を経て、初代副支部長を務められ、支部の当初から尽力いただきました。また、支部設立時から事務局として下支えして頂いた野呂氏が異動に伴い林氏に交代いたしました。

平成 26 年から今までの支部の取り組みとして、会員向け講習会や研修会、災害報告、若手技術者研修会、現地実習、若手技術者による発表会、一般向け社会教育などを実施してきた点を振り返り、今後も会員同士の連携により継続的な取り組みを進めていくことを確認しました。

丸谷氏が砂防学会長に就任され、さらに北海道大学「突発災害防災・減災プロジェクト拠点」の拠点長に就任されたことを報告しました。それを受けて砂防学会北海道支部は関係する機関との連携がますます進むものと期待が高まりました。

幾つかのご意見を紹介します。

- 発表会については、事例報告でもよいという敷居の低い会を設け、若手の発表を促してはどうか。
- 災害の時などは事後処理でも必要経費を予算から支出できるようにしてはどうか。
- 砂防学会北海道支部の旗を作ってはどうか。現地集合する際の目印にしたり、会議の横断幕にしたりといろいろ使い道が考えられる。
- 現地調査時に、車に貼るプレートを作ってはどうか。

発足して 3 年目ということで、お互い「知った顔」という関係ができ、自由な発言が多く見られる会議でした。参加者の中には久しぶりの懐かしい方もいらっしゃり、ひとつの北海道内の砂防コミュニティができてきていると実感しています。総会後は懇親会を開催し、竹内新副支部長の発声で乾杯を行い、丸谷氏へのお祝い、野呂氏への送別を兼ねておおいに盛り上がりました。



総会風景